



## ❖ 淡路国際シンポの背景

関西では、道路公害地域の環境再生、コウノトリの野生復帰など、環境に関して世界的に見ても注目すべき協働取組がなされてきました。また、全国レベルでも、日弁連の政策提言活動など、重要な活動が展開されています。さらに、1992年の地球サミット以降、環境パートナーシップオフィスの設置や環境教育・環境保全取組促進法の制定など、国においても、参加・協働の基盤整備と仕組みづくりがなされてきましたが、これらの取組については必ずしも十分に海外に伝わっていません。そこで、日本を代表する取組をリードされてきた方々にご報告いただくとともに、環境省元事務次官の小林光慶応大学教授に、日本の参加・協働施策の展開についてお話を伺い、世界から見た日本の取組の先駆的意義について改めて考えます。

他方、海外では、環境分野の市民参加条約であるオーフス条約が採択されていますが、日本は未だ加盟していません。また、条約加盟国では、先進国だけではなく多くの途上国においても、環境団体に環境を守るための訴訟（環境公益訴訟）が認められていて、高い勝訴率を誇っています。環境裁判所を設置する国も増えて、司法の面でも市民参加が進んでいます。日本は、環境行政訴訟を世界で最も制限している国の1つとなっていますが、このような国際的潮流は、国内ではほとんど知られていません。そこで、海外の実態について、実際に実務に携わっておられる裁判官、弁護士、政策担当者、NPO等にご報告をいただきます。また、激甚な公害を経験した日本では、公害対策や被害者救済の強化を求める、いわゆる政策形成訴訟が有効性を発揮してきました。現在も、アスベスト被害をめぐり、事業者・行政の責任を問う訴訟が行われており、関西でもいくつかの訴訟が係属中です。今回のシンポでは、大阪アスベスト弁護団よりご報告をいただくとともに、イタリアの研究者から、経営者に対する実刑判決が出されたことで有名なエタニット社事件についてもご報告いただきます。

## ❖ グリーンアクセスプロジェクトとは

グリーンアクセスプロジェクトは、環境権を保障し、持続可能な社会をつくるため、あらゆる人々の多様な環境保全活動が相乗効果を発揮できるような参加と協働の仕組みの構築を目指しています。正式名称は、「持続可能な社会づくりのための協働イノベーションー日本におけるオーフス3原則の実現策」といい、最先端・次世代研究開発支援プログラム研究（内閣府総合科学技術会議）の助成（2010～2013年度）を受けて進められています（<http://greenaccess.law.osaka-u.ac.jp/>）。

## ❖ オーフス条約とは

オーフス条約とは、リオ宣言（1992年地球サミットで採択）の市民参加の原則を受けて作られた環境分野の市民参加条約で、市民参加の3原則として、「情報公開」、「政策決定への参加権」、「裁判を受ける権利」（グリーンアクセス権）を保障しています。オーフス条約については、わかりやすい条例のパンフレットを作成しています（<http://greenaccess.law.osaka-u.ac.jp/archives/1954>）。

2013年2月末現在、EU諸国を中心に46カ国が加盟していますが、日本は未加盟です。そのため、本プロジェクトは、日本の社会・文化を活かし、地域に適した形で、グリーンアクセス権を保障する方策を検討しています。

## ❖ 本件に関する問い合わせ先

大阪大学大学院法学研究科教授 大久保規子

メール：[okku@law.osaka-u.ac.jp](mailto:okku@law.osaka-u.ac.jp)

大阪大学法学研究科グリーンアクセスプロジェクト事務局

メール：[greenaccess@law.osaka-u.ac.jp](mailto:greenaccess@law.osaka-u.ac.jp)

電話：06-6850-6603

# グリーンアクセスの実効的保障をめざして

## ー日本の成果と課題ー

開催日 : 2013年3月30日(土)・31日(日)  
開催場所 : 淡路夢舞台国際会議場 1階 アンフィシアター  
使用言語 : 日本語・英語(同時通訳)

主催 : 大阪大学大学院法学研究科グリーンアクセスプロジェクト  
(内閣府最先端次世代研究プログラム「持続可能な社会づくりのための協働イノベーション」)  
GAP 淡路国際シンポジウム実行委員会  
後援 : 環境法政策学会・日本弁護士連合会・環境省・兵庫県・日本環境会議

3月30日(土) : 第1日目 9:30-18:30

---

9:30- 竹中 浩(大阪大学大学院法学研究科 教授/研究科長)(5)  
築谷 尚嗣氏(兵庫県)(5)  
淡路 剛久氏(環境法政策学会長)(10)

午前 日本の先駆的取組 9:50-12:30

〈司会〉 栗谷 しのぶ氏(弁護士/オフィス条約を日本で実現するNGOネットワーク 運営委員)

9:50- 第1セッション「日本の参画・協働施策の展開」(30)

報告1 大久保 規子(大阪大学大学院法学研究科 教授/研究代表者)

報告2 小林 光氏(慶応義塾大学大学院政策・メディア研究科 教授/元環境省事務次官)

10:20- 第2セッション「関西の先駆的取組」(90)

報告3 築谷 尚嗣氏(兵庫県)(20)

*持続可能な地域：兵庫の環境再生*

報告4 藤江 徹氏(公益財団法人公害地域再生センター：あおぞら財団 事務局長)(20)

*公害対策：公害地域の環境再生*

報告5 江崎 保男氏(兵庫県立大学自然・環境科学研究所 教授)(20)

*コウノトリの野生復帰と地域の生物多様性保全*

報告6 藤井 絢子氏(菜の花プロジェクトネットワーク 代表)(20)

*エネルギー/低炭素：菜の花プロジェクト*

報告7 谷口 進一氏(株式会社夢舞台 代表取締役社長)(10)

*夢舞台と環境再生の取組*

11:50— 第3セッション「NGO・中間支援組織の取組」(20×2)

報告8 中下 裕子 氏(日弁連公害対策・環境保全委員会前委員長/オーフスネット事務局長)  
西島 和 氏(日弁連公害対策・環境保全委員会/弁護士)

*環境訴訟における弁護士の役割*

報告9 平田 裕之 氏(一般社団法人環境パートナーシップ会議: EPC 国内プロジェクトリーダー)

*日本の環境NPOの協働取組事例について*

(質疑応答)

12:30— 記念撮影〈屋上テラス〉/昼食〈レセプションホールA〉

-----  
午後 海外の取組① 14:00—18:30

〈司会〉 大久保 規子 (大阪大学大学院法学研究科 教授/研究代表者)

14:00— 第4セッション「海外からの報告—実務家・NGO」

報告10 ジャン=フランソワ・ブレイランド氏(ベルギー・欧州委員会環境部ユニットA2ヘッド)(20)

*環境問題における司法へのアクセス—EUレベルでの展開*

報告11 ヤン・ダルボ氏(スウェーデン・オーフス条約司法アクセス部会長/ウプサラ大学 教授)(30)

*オーフス条約と欧州における司法アクセスの現在*

*—環境問題における司法アクセスへの影響*

報告12 ヴェルナー・ハールマン氏(ドイツ・欧州行政裁判官協会前副会長/環境法部会長)(30)

*ドイツの環境訴訟における司法審査の密度*

報告13 フライアン・プレストン氏(オーストラリア・ニューサウスウェールズ州土地・環境裁判所 長官)(30)

*環境公益訴訟：成功のための条件*

15:50—16:10 コーヒーブレイク/質問票回収(20)

16:10— 第5セッション「NGOによるリオ第10原則の推進」

報告14 ヨアンナ・コーネリウス氏(スウェーデン・エコフォーラム/弁護士)(30)

*NGO活動における司法アクセスの重要性*

報告15 マーラ・シリーナ氏(ベルギー・欧州環境事務局: EEB)(30)

*市民参加に関する諸活動—促進戦略*

報告 16 キャロル・エクセル氏(アメリカ合衆国・アクセスイニシャティヴ:TAI 上級研究員)(30)

*リオ宣言第 10 条の実効性と TAI の戦略*

17:40-18:30 全体討論

19:00- レセプション〈レセプションホール A〉

3月31日(日):第2日目 9:00-12:30

---

午前 海外の取組② 9:00-12:30

〈司会〉 磯野 弥生 氏(東京経済大学現代法学部 教授)

9:00- 第6セッション「海外からの報告—理論的課題」

報告 17 ジョージ・プリング氏(アメリカ合衆国・デンバー大学 教授)

キャサリン・プリング氏(アメリカ合衆国・デンバー大学 研究協力者)(30)

*緑化する司法:情報公開・市民参加・司法アクセス—環境裁判所の貢献*

報告 18 ジュディス・プレストン氏(オーストラリア・マッカーリー大学 講師)(30)

*深刻な抑圧状態からの参加:SLAPP 訴訟により「熱意をくじく」*

報告 19 エレーナ・ファソーリ氏(イタリア・ボローニャ大学/オーフス条約締約国会議イタリア政府代表)(30)

*環境 NGO の司法アクセス:イタリアの法制度における最近の展開*

報告 20 村松 昭夫氏(大阪アスベスト弁護団副団長/あおぞら財団 理事長)(20)

*アスベスト国賠訴訟の成果と課題—泉南アスベスト訴訟を中心として—*

10:50-11:10 コーヒーブレイク(20)

11:10- 総括討論

12:00- 終了

12:30 エクスカーション出発(報告者+α)

以上